

指定校番号	29013	学級活動		児童会		クラブ活動	○	学校行事		小学校用
-------	-------	------	--	-----	--	-------	---	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立小田東小学校	校長	信末 実智則	生徒指導主事	佐々木 祐司
-----	--------------	----	--------	--------	--------

取組事例名	『ボランティア活動 保育所でのボランティア』
取組のねらい 『キーワード 自己肯定感』	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の園児が通っている保育所で、これまでの自分を育ててくださった保育所の方への感謝の気持ちを込めて園児と遊ぶ活動を通して、地域の一員としての自覚ややり遂げたという自己肯定感を高める。
身に付させたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見し、意欲的に課題を解決しようとする主体性。 ・他者とのかかわりで課題を解決しようとする協働性。 ・課題を解決し、自分にもできる、自分にも価値があると自分を認める自己肯定感。
取組の具体的内容 『キーワード 必然性』	<p>・ボランティアクラブ創設 2 年目、児童が「もっと地域の役に立ちたい」という願いをもち、4 月に活動内容を計画した。活動内容として、「地域の方にゲストティーチャー等でお世話になっている。その感謝の気持ちを込めて、自分たちでできることは何か。」と投げかけ、ボランティアクラブで考えた。話し合いを進める中で、地域のお寺や神社や施設の清掃活動だけでなく、人と直接かかわるボランティア活動をしたいという思いを持った。そこで、自分たちが育ててもらった地域の保育所で園児と遊ぶ活動をすることを決定した。</p>
取組の課題・創意工夫 『キーワード 主体性』	<p>・昨年度ボランティア清掃に参加したボランティアクラブ部員の児童が体験を話し、ボランティア活動をして気づいたこと等を新しくボランティアクラブに入った児童に説明をした。「甲立駅を利用する人から、あたたかい声をかけてもらい、やってよかった。」「きれいになったトイレを見て気持ちがすっきりした。」等の感想を聞いた児童がボランティア活動をやってみたいという意欲につながった。その後、ボランティアクラブが保育所のどの組で誰が遊ぶのか等計画を立て、保育所の所長と目的や日時等の連絡をとり、ボランティア活動を実現していった。</p>
取組の成果（効果） 『キーワード 貢献する意欲』	<p>・自分たちで考えた自発的な活動であり、一生懸命に活動した児童が、「楽しかった。」「先生や児童に喜んでもらった。」「やってよかった。」という感想を広めていくことで、自己肯定感の育成はもちろん、他の児童も「やってみたい。」という意欲をもつようになっている。学校生活では見せないようなやさしい表情を園児に見せ、指導者も児童一人一人の良さをさらに感じた。また、児童にとっても新しい自分発見につながったと考えている。このような取組を継続していくことで、児童会等の活動で意欲的、主体的に活動をする児童が増えてきた。</p>
 	

今後の展開『キーワード 広げる 伝統』

・平成28年度4月にクラブ活動の一つとしてボランティアクラブを結成した。今年度は2年目。活動は地域の寺院や施設の清掃，学校内外のボランティア清掃や学校の遊び道具の片付け・整理を行ってきた。自分たちで計画を立て，主体的に活動を行っている。この活動を，より日常的な活動に広げていく。

・平成30年度，これまでのボランティア活動を広げ，統合された甲田小学校でも地域に貢献する活動を伝統にしていく。



他校へのアドバイス『キーワード 工夫』

・児童が「ボランティア活動をしよう」とする意欲や方向性を，クラブ担当者と生徒指導主事が連携をし，見通しをもって，児童が活動できるように支援を行った。全校朝会でボランティア活動を全校児童に呼びかける機会を設けることで，ボランティアの輪が広がっていった。本校は「学びの変革」にかかわり，児童が「やってみよう。」「やらなければいけない。」等の意欲や必然性をもたせる課題設定の工夫を国語科，総合的な学習の時間を中心に行ってきた。この取組とつなげて，今年度もボランティア活動では，地域への貢献や感謝を課題にした。



課題解決の方法を児童に考えさせ，主体的な活動になるように仕組んでいった。これらの工夫が「もっと地域の役に立ちたい。」という気持ちにつながっていったと考えている。